



2020年3月26日

各 位

会 社 名 株式会社アイ・ピー・エス
銘 柄 名 株式会社IPS
代表者名 代表取締役 宮下 幸治
(コード番号:4390 東証マザーズ)
問合せ先 取締役事業企画本部長 前田 知之
(TEL. 03-3549-7719)

新型コロナウイルス感染症による影響等に関するお知らせ（第2報）

このたびの新型コロナウイルス（COVID-19）によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔み申し上げますとともに、罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます。

当社グループが事業を展開しているフィリピンの事業状況について、3月18日に第1報としてご報告いたしておりますが、第2報として本日時点のフィリピンでの事業に関する新型コロナウイルス感染症の影響について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 海外通信事業及びフィリピン国内通信事業

3月中旬以降のフィリピンでは、ルソン島において外出禁止措置が出されておりますが、通信事業は規制の対象外となっておりますので、当社グループでは、技術・カスタマーサービスなどのスタッフを中心に安定的な通信環境を提供しております。

現在、マニラ首都圏を中心に非常に厳しい感染拡大対策が取られており、通勤することが事実上難しく、テレワークの対象となる方が非常に多くなっており、インターネットトラフィックが増加しております。このような状況に対応するため、フィリピンの大手電気通信事業者2社、PLDT, Inc. と Globe Telecom との間で、香港-フィリピン間の回線増設の折衝を行っております。一日の平均で56%増、ピーク時のトラフィックで15%増であり、今月は過去最大のトラフィックボリュームとなっており、サービスのクオリティ維持が問題となっております。3月に入って既に前月比1割のキャパシティを追加したほか、今月中にさらに同量の追加を予定しております。後者の PLDT, Inc. よりリースを受ける ASE (Asia Submarine-Cable Express) 回線は、当社にとっては初めて利用する回線であり、新たなルート（参考）ができることとなります。

今後も適切なタイミングで回線の開通を行い、フィリピン-香港間の回線を拡大させることを通じて、生活に不可欠な基盤となっている CATV 事業者のインターネット基盤の充実を図ることができるよういたします。

2. 医療・美容事業

現在、外出禁止措置を受け、引き続きマニラ首都圏の3院を閉院いたしております。今後の対応及び開院時期などにつきましては、状況を確認し決定してまいります。

3. KEYSQUARE INC.

BPO 業務は今回の規制対象外ですが、引き続き自主的に大幅に縮小して対応中です。

4. 業績への影響

2020年3月期の当社グループの業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は軽微となっております。

海外通信事業におけるネットワーク増強による2021年3月期の当社グループの業績への影響につきましては、現時点では軽微なものであると考えておりますが、医療・美容事業を含めました新型コロナウイルス感染症による影響については、今後の状況等を精査し、決算発表時点にお知らせする予定です。

以上

(参考) マニラ近辺の主な海底ネットワーク図

